

愛知県青少年育成県民会議だより

Next Generation

次 代

第136号 2013.10



第44回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等の表彰受賞者のみなさん

CONTENTS

表紙 第44回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等の表彰受賞者…	1
私の意見 一生徒との距離感。指導者としての姿勢。－……………	2
青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動……………	3
岡谷会長に知事から感謝状……………	3
平成25年度少年の主張愛知県大会の開催……………	4
最優秀賞作品紹介「伝統を受け継ぐ」……………	5
新会員団体の活動紹介……………	6
第44回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等の表彰受賞者名簿……	7
青少年によい本をすすめる県民運動 読書感想文募集案内……………	8
子ども・若者育成支援県民運動強調月間……………	8
編集後記……………	8

**育てよう
自分に勝てる子
負けない子**

11月は
子ども・若者育成支援県民運動の
強調月間です。

私の意見 一生徒との距離感。指導者としての姿勢。－

名城大学附属高等学校 ダンス部コーチ 高野 早 希

私は、大学生の頃から現在まで名城大学附属高等学校ダンス部のコーチをしています。名城大学附属高等学校は私の母校であり、私はダンス部1期生であります。私自身、小学生の頃からクラブチームでダンスをしており、そのクラブチームのコーチの一声と学校の顧問の先生の後押しでダンス部を創設することができました。高校を卒業してコーチとしての経験は浅いですが、自分が教える・伝える立場でありながら、生徒から学ぶことの方がたくさんあることに気付かされる毎日です。



■ 伝え方、受け取られ方 ■

ダンスを通して生徒とコーチという関係ではあるものの、指導というものは人と人の関わり合いです。

名城ダンス部は年に2回、競技大会に出場しています。大会に向けての練習は部員にとって厳しく辛いものではありますが、仲間と同じ目標に向かって突き進み、その先にある達成感を全員で味わうことができます。

私はコーチとして振付、指導をしています。こちらが伝えたいことを生徒のみんながどう受け取ってくれているかという問題に直面します。部員は今何を考え、何を思って練習に取り組んでいるのかをこちらが理解し、モチベーションや意欲を大会に向けて最高潮に持っていき、本番にベストな演技が出来るよう進めていくことが私の役目だと思っています。メンバー全員との適度な距離感を保ち、一人一人と向き合っていく指導を心がけています。



■ 『感謝』 ■

約7年間、部活を通してたくさんの生徒たちを見てきましたが、全員に共通して言えること。それは“踊ることが好き”ということです。好きだからこそ熱くなれるし、こちらも熱意を持って指導ができます。こちらが要求したことに対して食らいついてくるみんなのエネルギーは本当にパワフルで、私も元気をもらいます。だからこそ、そのパワーやモチベーションを持続させるのは全て指導者の力であると思います。

高校時代の部活での取り組み方が、これからの生き方に大きな影響を与えることになると思います。

私はダンスを指導しながら、マナーや礼儀、人とのコミュニケーションの取り方をも指導している反面、自分自身の指導に対する姿勢を教えてもらいながら、人としての成長を高め合っていると感じています。

自分が高校生の際はダンス部の一員として、そして卒業してからはコーチとして携わることのできるこの環境にとっても感謝しています。



青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動（夏期）を実施しました

愛知県では、夏休み期間中を含めた7月と8月を「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動（夏期）」強調期間と定め、各種活動を集中的に実施しています。今年も、その一環として、学校関係者・警察関係者・行政関係者・少年センター・青少年団体・女性団体の関係者など約90名により、次の活動を実施しました。

<日 時> 平成25年7月22日（月）

時 間	行 事 名	場 所
14:30 ～ 15:30	講演「子どもをケータイ・ネットのトラブルから守る ～スマートフォンの問題点～」 ○講師 KDDI 株式会社中部総支社 安藤 歩氏	名古屋市教育館 2階講堂
15:45 ～ 16:00	愛知青少年サポートパトロール隊（あいち声かけ隊）出発式 【スローガン】 ◆非行の芽 はやめにつもう みな我が子◆	名古屋市教育館 2階講堂
16:00 ～ 16:30	非行・被害防止キャンペーン 非行・被害防止パトロール	栄駅周辺 栄駅、名古屋駅、金山駅 を中心とした繁華街



（講演会）



（出発式）



（キャンペーン）

今後の取組では、青少年が解放感等から有害環境に接することが多くなる冬休み期間中に、「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動（冬期）」（平成25年12月20日～平成26年1月10日）を実施することとしており、家庭・学校・地域社会が力を合わせて、青少年の非行や犯罪被害を未然に防止するため、県民運動を展開します。

岡谷会長に知事から感謝状が贈呈されました

平成25年7月22日（月）、愛知県公館において、当県民会議の会長を務める岡谷篤一氏に対し、大村秀章愛知県知事から感謝状が贈呈されました。これは、氏が、平成13年6月から平成25年5月までの12年間にわたり、愛知県青少年保護育成審議会会長として審議会の運営に尽力された功績に対するものです。氏は、長年にわたり青少年の健全育成に多大な貢献をされており、今後とも、より一層のご活躍が期待されます。



平成25年度少年の主張愛知県大会が開催されました

愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・愛知県青少年育成県民会議が主催する「少年の主張愛知県大会」が、8月23日(金)に名古屋市の中区役所ホールで開催されました。県内312校の中学校から、54,937名の応募があり、各地区から選ばれた14人の中学生がそれぞれの主張を力強く発表しました。

発表の内容は、家族や学校生活、国際理解、環境問題や伝統文化など、さまざまでしたが、いずれも社会や世界、そして未来に向けて前向きな考え方をもち、行動しようとする意欲が感じられ、その熱意に会場を埋めた聴衆からは盛んな拍手がわき起こりました。

各賞の受賞者は右表のとおりですが、最優秀賞を受賞した安藤明日香さん（豊田市立石野中学校3年）が、全国大会の出場候補者に推薦されることになりました。

*「共感賞」は中学生審査委員が最も共感できる作品を協議して選出します。開催地名古屋市内の中学校の代表者6名が選考しました。

種 別	題 名	受 賞 者
最優秀賞 (愛知県知事賞)	伝統を受け継ぐ	豊田市立石野中学校 3年 安藤明日香
優秀賞 (愛知県議会議長賞)	「ありがとう」の心を 忘れずに	豊田市立藤岡南中学校 3年 田篠あつみ
優秀賞 (愛知県教育委員会賞)	どちらのりんごを 選ぶのか？	名古屋市立前津中学校 3年 塚原 健太
優秀賞 (名古屋市教育委員会賞)	生きるということ	田原市立田原中学校 3年 榊原 萌実
優秀賞(愛知県青少年 育成県民会議会長賞)	フルーツポンチ、 おいしいね♡	一宮市立南部中学校 3年 王 奕萌
奨励賞(同上)	「いただきます」に 思いを込めて	半田市立成岩中学校 3年 石川 陽依
奨励賞(同上)	「本当に大切なものとは。」	瀬戸市立品野中学校 3年 井上真由香
奨励賞(同上)	手紙とメール	岡崎市立新香山中学校 3年 榎本 真帆
奨励賞(同上)	この度、母が日本人に なります	名古屋市立菊井中学校 3年 後藤 真生
奨励賞(同上)	夢を見つけてからが 始まり	津島市立藤浪中学校 3年 杉山菜々子
奨励賞(同上)	母の言葉から学んだこと	豊川市立小坂井中学校 3年 鈴木 凌平
奨励賞(同上)	心を紡ぐ	知立市立知立中学校 3年 田中 愛美
奨励賞(同上)	本物の強さ	西尾市立福地中学校 3年 長沼 莉星
奨励賞(同上)	大切なものは「モノ」 より「ココロ」	豊橋市立豊岡中学校 2年 羽鳥 紗優
共感賞*	本物の強さ	西尾市立福地中学校 3年 長沼 莉星



最優秀賞作品紹介

「伝統を受け継ぐ」

豊田市立石野中学校 3年 安藤 明日香

「明日香ちゃんの歌舞伎を見るために、頑張って長生きするわね。」

あるおばあさんが、私にかけてくださったこの言葉のおかげで、今の私がいます。

小学校一年の夏。祖父の誘いで地域のお祭りで行われる農村歌舞伎に参加することになりました。そのときは、みんなもやるならやろうかな、という軽い気持ちでした。

そして、初舞台。初めての化粧。真っ白に塗られた自分の顔を見て、いよいよだと気持ちが高まりました。舞台上上がったときに飛んできた、たくさんの拍手と色とりどりのおひねり。初めて歌舞伎の楽しさを感じたのが、この瞬間でした。

五年生になって、子供歌舞伎に加えて、大人歌舞伎を両立するようになりました。大変だろうとは思いましたが、新たな挑戦に胸を弾ませました。大人の迫力ある演技に負けないう、先生の厳しい指導のもと、毎日の練習に励みました。ますます歌舞伎にのめり込む自分がいました。

中学生になり、今まで以上に周りの期待に応えて、自分がこれからの石野地区の農村歌舞伎を引っ張っていくぞ、と考えていた矢先、

「明日香、いつまで子供歌舞伎をやる気だ。もう引退しなさい。」

祖父から信じられない言葉を告げられました。なぜそんなことを言われなければならないのか、私には全く理解できませんでした。子供歌舞伎ではリーダーとしての自信もつけてきていたのに、おまえはもう必要ない、と言われたのです。ショックと悔しさで涙が止まらず、その場から逃げ出しました。

「もうやめたい。やめてやる。」

あれほど大好きだった歌舞伎に対して、気持ちが冷めていく自分がいました。後継者不足で、地元の農村歌舞伎が途絶えてしまえばいい、とまで思いました。

でも、そんな私の気持ちが前向きに変わったのは、ある出来事を思い出したからです。それは、小学校五年生の時、初めて大人歌舞伎の舞台上で演じた後のことです。近所のおばあさんが、私の家をわざわざ訪ねてきてくださいました。

「この前の歌舞伎、とっても上手にやったね。感動しました。来年も楽しみにしているから頑張ってね。」おばあさんは涙を流して話していました。私は、今でもそのときのおばあさんの顔を、その言葉を鮮明に覚えています。そして、

「明日香ちゃんの歌舞伎を見るために、頑張って長生きするわね。」

と言って、帰っていかれました。

今まで歌舞伎をする意味など考えたこともなかった私。歌舞伎から逃げ出して初めて、自分の歌舞伎に対する思いに気づきました。

「人に元気を与える歌舞伎がしたい。」

と。おばあさんの言葉は、私が歌舞伎をやる意味を考えるきっかけを与えてくれました。

気持ちを切り替えて臨んだ、その年の農村歌舞伎の公演後。久しぶりに、祖父と二人で帰ることになりました。何を話せばいいかわからず、重たい空気の車の中で、祖父からこんな言葉をかけられました。

「明日香、あんな言い方をして悪かったな。ただ、歌舞伎の伝統を受け継いでいくのは、明日香一人じゃない。だから、もっと多くの子達にもチャンスを与えたい。子供歌舞伎で同じ役を何度もやるよりも、明日香は大人にまじって、どんどん新しい役に挑戦していくところまできてるって言いたかったんだ。今日の歌舞伎、よかったぞ。」

今、私は大人歌舞伎で役者を演じる一方で、子供歌舞伎には、指導者という立場で関わっています。指導者の話を持ちかけられたとき、認められた嬉しさ以上に、自分にできるかどうか不安に思う気持ちが強くありました。しかし、私を指導してくださった先生が引退され、子供歌舞伎のレベルが低下しつつある現状を目にして、決心しました。

私はこれからも、大人歌舞伎で伝統を学びながら、地域の子供達に伝えていきます。一人でも多くの人に元気になってもらえる、そんな歌舞伎を目指して頑張ります。今ならわかります、祖父や先生の言葉の重みが。

「伝統っていうものは、誰かがやり続けることではないんだよ。人から人へ、伝えていくものなんだよ。」

新会員団体の活動を紹介します

□ 放課後学習支援事業「ゆめの木教室」活動について □

特定非営利活動法人子どもの国 理事長 井村 美穂

愛知県豊田市の人口に占める外国人登録者数の割合は、平成24年5月現在3.1%であり、その一方、外国人集住地域である保見ヶ丘の外国人登録者数については、48%とたいへん高い比率です。

現在、保見団地で生活する外国人は永住化傾向にあり、日本生まれの子どもが急増する中、両親が不安定な雇用状況の家庭や共稼ぎ生活の破たんによる単親家庭も多く、家庭が子どもの心の拠りどころにならないケースも見受けられます。

保見地域には豊田市立の西保見小学校と東保見小学校があります。東保見小学校の児童は学校生活の中で日本語会話を習得していますが、西保見小学校では外国籍児童の比率が60%となり、日常会話もなかなか身に付きません。子どもたちが授業内容を理解し、学齢相当の学力を習得するためには、日常会話で使う生活言語と学習言語の両方を学ばなければならず、支援が必要な状況です。



保見地域の就学年齢における外国籍の比率は、平成25年4月現在で保見中学校は全校生徒の34%、東保見小学校では14%、西保見小学校では62%に達しています。各学校では加配教員による取り出し授業の実施や学校日本語指導員等を配置するなど、手厚い対応がなされていますが、学年相当の学力や高校進学を目指すには、まだ、困難な状況にあります。

本事業では、このような状況にある子どもたちが学校に継続して通い続け、主体的に学習に取り組めるよう、地域、学校、保護者と連携しながら、日本語によるコミュニケーション能力、日本社会への適応能力、学習の支援を実施しています。

□ 子どもの育ちを支える □

特定非営利活動法人子育て・子育てNPOスコープ 理事長 杉浦 登喜子

◆設立と団体の想い

平成17年4月1日設立、子育て支援のNPO法人として誕生して今年で8年目を迎えました。設立時の想いとして「次世代の育成を推進するため、世代間交流や子育て中の親が抱える不安を解消するための環境づくり、ネットワークづくりなどの事業を通して、すべての子どもと親が生き生きと心豊かに暮らせるような地域社会をつくることを目的とし、次世代の子どもたちが安全にすごせる居場所づくりや世代間の交流などの事業を通じて私たちが次世代に伝えたいメッセージを送り続ける活動をめざしていきます。」として現在も活動を行っています。



(キッズクラブ)

◆主な活動と実績

- 刈谷市を中心に0歳から就園前の親子を支える「広場」「支援センター」の開催
- 小学生の週末の居場所「キッズクラブ」の開催
- 中高生の居場所「なごみんはあと」の開催
- 高校へ出かけ、高校生と一緒に子育て支援を行う「出張子育て広場」
- 父親の子育て参加の促進として「パパズライフ・プロジェクト」の開催
- 病児の子どもを支える「病児保育、保育士派遣」
- 平成23年度チャイルド・ユースサポート章受章（内閣府）

◆これから

活動が続ける中で、子育ての不安が強い母親や問題を抱える親子などに出会う機会が多くなってきました。設立時の思いを反復し、親子や子どもとの出会いや触れ合いの中で、メンバーは子どもの持っている力の可能性や親の力を信じ、親どうしや子どもどうしの触れ合いを大切にしながら、どんな親子にでも寄り添うことができる団体になりたいと思っています。そのためにも、メンバーとともにもっと成長していかなければと考えています。



(中高生の居場所)



(パパズライフ・プロジェクト)

第44回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等の表彰受賞者名簿

日頃の青少年活動及び青少年の育成指導活動の功績が認められ、次の方々、平成25年5月28日に県民会議の総会で表彰されました。おめでとうございます。一層のご活躍を期待します。

◆ 個人の部（青少年）

氏 名	住 所	所 属 団 体
高野 早希	一 宮 市	名城大学附属高等学校ダンス部
高取 渉	東 海 市	東海市和太鼓集団「sho」

◆ 個人の部（青少年育成者）

氏 名	住 所	所 属 団 体
鈴木 照子	春日井市	ガールスカウト愛知県第74団
丹羽美代子	犬 山 市	愛知県子ども会連絡協議会
前田 幸男	江 南 市	江南市スポーツ少年団
吉田 正浩	豊 田 市	愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会
鈴木 雅久	蒲 郡 市	蒲郡市子ども会連絡協議会
原 仁一	田 原 市	田原市体育協会
都築 光哉	安 城 市	安城市子ども会育成連絡協議会
滝 克己	日 進 市	日本ボーイスカウト愛知連盟
竹内 泉美	常 滑 市	ガールスカウト愛知県第106団

◆ 団体の部（青少年団体）

団 体 名	所 在 地
中部大学ボランティア・NPOセンター	春 日 井 市
名城大学附属高等学校ダンス部	名古屋市中村区
愛知県立蒲郡高等学校ボランティア部	蒲 郡 市
日本ボーイスカウト愛知連盟春日井第4団	春 日 井 市
日本ボーイスカウト愛知連盟江南第1団	江 南 市
ガールスカウト愛知県第72団	名古屋市守山区

◆ 団体の部（青少年育成団体）

団 体 名	所 在 地
米野さわやか会	小 牧 市
安城知立少年補導委員会	安 城 市
木遣音頭保存会	稲 沢 市
愛知地区少年補導委員会	東 郷 町
名古屋市立日比野中学校PTA	名古屋市熱田区

「青少年によい本をすすめる県民運動」読書感想文を募集中です

平成25年10月1日から1か月間、「育てよう 豊かな心 読書から」のスローガンのもとに、愛知県と愛知県青少年育成県民会議の主催により「青少年によい本をすすめる県民運動」強調月間を展開しています。この運動では、はがきによる読書感想文を募集し、選考の上、愛知県書店商業組合から児童図書または全国共通図書カードが贈られます。運動期間中に次のすすめる本を読み、ふるって応募してください。

- 応募方法 はがき（または同じ大きさの紙）の裏に本の題名と感想を書き、応募してください。なお、表面には住所・氏名のほか学校名・学年（又は職業・年齢）をお書きください。
- 応募先 〒460-8501（住所不要）愛知県庁内 愛知県青少年育成県民会議事務局 「読書感想文」係
- 締 切 11月6日（水）（必着）

読書感想文募集図書一覧

作 品 名	著 者 名	出版社	価 格
-------	-------	-----	-----

幼児向

あさになったので まどをあけますよ	荒井 良二	偕成社	¥1,365
おかしなゆき ふしぎ なこおり	片平 孝	ポプラ社	¥1,260
ようちえんにいくんだ もん	角野 栄子	文化出版局	¥1,365

小学校低学年向

くるみわりにんぎょう	E・T・A・ ホフマン	徳間書店	¥1,680
みどりのカーテンを つくろう	菊本 るり子	あかね 書房	¥1,050
ひまわりの おか	葉方 丹	岩崎書店	¥1,575

小学校中学年向

風の島へようこそ くりかえし つかえる エネルギー	アラン・ ドラモンド	福音館 書店	¥1,365
世界一力もちの女の 子のはなし	サリー・ ガードナー	小峰書店	¥1,260
飛べ！「はやぶさ」 －小惑星探査機60億 キロ奇跡の大冒険	松浦 晋也	学研教 育出版	¥1,260

小学校高学年向

空へのぼる	八東 澄子	講談社	¥1,365
さがしています	アーサー・ ビナード	童心社	¥1,365
きみ、ひとりじゃない	デボラ・エリス	さ・え・ら 書房	¥1,680

中学生・高校生向

魔法の泉への道	リンダ・スー・ パーク	あすなろ 書房	¥1,365
戦火の馬	マイケル・ モーパーゴ	評論社	¥1,365

青年向

くちびるに歌を	中田 永一	小学館	¥1,575
心のおくりびと 東日本 大震災 復元納棺師 ～思い出が動きだす日～	今西 乃子	金の星社	¥1,365

11月は子ども・若者育成支援県民運動の強調月間です

新たな社会を担う子ども・若者が社会とのかかわりを自覚しつつ、社会的に自立した個人として成長することは県民すべての願いです。この機会に、子ども・若者たちを取り巻く環境を、大人自身がもう一度見直すとともに、多様な人々との交流や、さまざまな社会活動を体験できるような環境づくりを進めましょう

★ スローガン 「育てよう 自分に勝てる子 負けない子」

★ 内 容 広報啓発活動、パトロール活動、大会・シンポジウム・研修会の開催等

編集後記

5月28日、県民会議総会で「第44回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等表彰」の表彰式が行われました。表紙の写真は、受賞された個人・団体の皆さんです。皆さんの一層のご活躍を期待します。また、今号では、当県民会議へ新たに参加された団体から、その活動状況について寄稿いただきました。熱心に活動に取り組んでおられる様子が伝わってきます。今後ともよろしく願います。